



聖人の洗礼名 (上)

長崎巡礼 ⑧

カトリック教会では
洗礼を受ける時、新し
い名前、洗礼名(霊名)

肉体的誕生の際、名
前がつけられるように
霊的誕生により教会の

それは自分に新しくつ
けられた聖人の名前によ
って生涯その聖人の
加護を願い、同時に聖
人の徳行に近づくよう
努めるためである。
日本の教会では余り



祭壇上の天窓から鳥の形の陽が差し込む

いように思えるが、韓
国の教会では信徒同士
が霊名で呼び合う。

どの聖人を自分の洗
礼名に選ぶかは自由
で、最も尊敬する聖人
や、自分の誕生日が聖
人の記念日に近いから
と選ぶなど、人によっ
てさまざまである。

手元に「教会の聖人
たち」上・下巻の二冊
の分厚い本があるが、
聖人の記念日別にその
聖人の徳行が紹介され
ている。

私の洗礼名は「アウグ
スチヌス」。情けない話
だが、なぜこの聖人を
選んだかはっきりした
記憶がない。妻が笑い
ながら言うには、子ど
もに買い与えた聖人伝
は聖人がアイウエオ順
に紹介されており、一
番最初の聖人がアウグ
スチヌスだったからそ
の人を選んだと言う。

洗礼名の決定がこの
調子であるから、私の
洗礼はかなりの加減
なものだと告白せざる
を得ない。

アウグスチヌスには
キリスト教神学のたく
さんの著作がある。五

世紀に活躍し
た聖人で、代
表的著作「告
白録」はカト
リック、プロ
テスタントの
別なく読まれ
る名著として
有名である。

今回の長崎
巡礼で私の洗
礼名のアウグ
スチヌスの名
前の修道会が
司牧する城山
教会を偶然訪問した。

オーバーな表現をする
と、洗礼名による恵み
とでもいおうか。

長崎市若草町にある
城山教会の信徒は、以
前は長崎で一番信徒数
の多い浦上教会に所属
していた。しかし余り
に人数が多くなったた
め浦上から分離独立し
て城山教会がつくら
れ、それを司牧するこ
とになったのがアウグ
スチノ修道会である。
(アウグスチヌスはア
ウグスチノのラテン語
読み)

アウグスチヌスを模
範として十三世紀に創
立された修道会で、現

外からの陽差しがステンドグラスを通して
ロビーに差し込む



在、世界各地に四千人
の司祭がいる。

アメリカ・ペンシル
ベニア州のピラノバ管
区に属する日本のアウ
グスチノ修道会は東
京、名古屋、福岡、長
崎の四カ所で活動し、
司祭の数は十人、その
うち六人が日本人神父
である。

一九五二年に建てら
れた城山教会は二〇〇
〇年に建て替えられ
た。実に近代的な建物
で、聖堂内の祭壇の上
の天井が最も高いユニ
ークな造りである。神
を象徴する太陽の光が
教会内に差し込む。
聖堂前のロビーを飾

るステンドグラスが素
晴らしい。一枚の大き
さは高さ二メートル、幅一
メートル、色が実に見事
である。

これは建て替えの
際、アメリカのピラノ
バ修道院にあったもの
を譲り受けたものだそ
うで、こんなに大きな
ステンドグラスを目前
で見たのは初めてであ
り、アウグスチノ修道
会の歴史を感じさせる
ものである。教会が幼
稚園、保育園、小学校、
中学校も運営している
ことにも驚く。
次回はアウグスチヌ
スがどんな聖人であっ
たかを紹介する。